

清恵会医療専門学院 第1看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目標を学生ガイダンス、ホームページ、学生募集要項に記載し、入学時だけでなく、実習ガイダンス等学生に周知するよう努めている。	教育理念・目的・目標は、学則に定められている。また、学生にも周知を図るため入学時に新入生ガイダンスを配布し説明している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、また専任教員に理解されている。また、専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門の知識・技術・態度を育成し100%の就職率を維持しているが、社会の変化に対応した専門職としての資質は十分ではない。カリキュラム改正に向けて、育人材像を見直している段階である。	専門の知識・技術・態度を身につけ、社会に対応できる看護専門職の育成に努めている。就職率は100%ではあるが、卒業後の継続状況についての追跡調査・分析は追いついていないため、母体病院との連携を今後も図っていく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念に掲げてある「社会の変化に対応できる看護専門職を育成する」を基盤に、専門職としての技術・知識・態度を修得できるよう、講義・実習の充実に取り組んでいる。	病院附属の学校であることや1クラス少人数制、担任制などの特色を生かし、集団活動及び個別に応じた学生指導に力を注いでいる。講義や演習・実習ではアクティブラーニングを積極的に取り入れ、学生が主体的に学んでいけるよう日々取り組んでいる	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長と少人数制教育で培われた経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	地域包括ケアシステムを見据えた教育内容の構成に取り組んでいるが、今後の大学化や4年制への将来構想は明確化されていない。カリキュラム改正にむけて今後の看護教育を見直している段階である。	地域包括ケアシステムの構想を踏まえ、あらゆる場所で活躍できる看護専門職の育成が必要と考える。臨床判断能力、多職種連携、保健指導力などのスキルを看護基礎教育で身につけるため、2022年の新カリキュラム改正に向け、現行のカリキュラム評価に取り組んでいるところである。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。第二学院も含めた看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められている。月1回の運営会議を開催し、状況報告や理事会の報告、また決定した方針等は他学科と共有している。	法人の中長期計画に基づき、学院の運営方針を定めている。月1回の運営会議にて、学校運営方針を確認し、看護学科、放射線技師科、理学療法士科と取り組み状況について情報の共有を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画は定められており、各学科の年間教育目標を設定している。また、学科目標から、各学年目標を設定し個人目標へ繋げている。	法人の中長期計画に基づき、学院の事業方針が定められている。運営会議で事業方針を確認し、科長会、教務会で、全教員へも周知を図っている。事業方針に沿ってそれぞれの役割をもって業績目標を打ち出し、目標達成に向けて取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありがたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図のもと学院長、事務長、各学科教務部長、教務科長をメンバーとした学院運営会議を中心に、必要な委員会を設置・開催している。	学院長、事務長、各学科の教務科長をメンバーとする運営会議を月一回実施し、学校運営の適正化を図っている。看護学科は3課程あり、3課程合同の教務科長会、学科会議、教務会、各種委員会を設置・開催している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議し決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院長、教務部長、教務科長、主任、専任教員で構成し、各学年は担任、副担任で構成されている。教育理念・教育目標を達成できるように、また各領域ごと指導体制が整うように教員の配置を行っているが、専門性は充実できていない。但し、組織内の協力体制は整っている。	教員の業務分掌・服務規程は細則に定められており、教務科長と主任を含めた教員8名を配置している。教員の受け持つ各クラスの担任と副担任、また専門領域を明確にしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及びサービスに関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料においては設置主体の法人の規定に基づき決定・策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
	3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づいたカリキュラムを構成し、各年次の教育内容、実施方針を編成している。学生には入学時、各年次において説明し周知を行っている。	教育理念に沿った教育課程は編成されている。学生には、作成した「教育カリキュラムガイダンス」を用いて説明し周知を行っている。新入生には、作成した「入学ガイダンス」を用いて、入学時にオリエンテーションを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各年次ごとの教育到達レベルを設定している。学則細則により、科目履修規定、評価点の基準を設定し、教員・学生の共有化を行っている。評価基準においては、ルーブリック評価を導入し、明確化を図っている。	修業年限に応じた教育到達レベルは、「教育カリキュラムガイダンス」に明確化している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程を編成し、入学生の状況にあわせた教育内容に取り組んでいる。月1回の学科会議を開催し、内容の検討を行っている。また、教科外活動は学生の態度面や感性の育成を重視した内容としている。カリキュラム内容は見直しを始めている段階である。	教育目的・目標に沿った教育課程の編成が実施されている。従業年限に応じた教育到達レベルの目標は、科目設定と科目目標に反映している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	講義においては、シラバスをもとに内部・外部講師の共有を図っている。実習では設置母体との合同調整会議を実施し、意見を反映させている。	外部講師や実習関係者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進捗状況など情報を共有し、シラバスをもとに積極的な意見交換を行い、より効果的な教育内容の充実に努力している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より社会人基礎力の修得に向けた取り組みを行っている。また、他学年との交流を行い、学習の意識づけや専門職としての自覚を育成している。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会を生き抜くための社会人基礎力の修得に向けて教育を実施している。実施した教育が具体的にどのようなキャリア教育へとつながるのか、卒後教育と照らし合わせ、明確にしていく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に定められた専任教員数は確保できているが、大阪府看護教員養成講習会の未受講教員がいる。	看護師養成所の設置基準である臨床経験5年以上の条件は満たしているが、大阪府教員養成講習会の未受講教員が数名いる。但し、未受講教員は当学院で教育経験を積みながら、順次受講していく予定である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。課題としては、大阪府看護教員養成講習会未受講教員の講習会受講が挙げられる。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門性を高めるために1回/年の研修への参加を推奨している。また、教務会を開催し、資質向上への取り組みを行っている。教員指導・教育としては、教員経験年数に合わせた段階的な指導を行い、教育力の向上に努めている。そして、学生の状況に合わせた教授方法を話し合い、継続した教員教育に取り組んでいる。	施設外の研修では大阪府看護学校協議会・看護協会主催の研修会や学会、教育研修事業に参加し自己研鑽している。施設内では勉強会や伝達講習会などを開催し、教育の質向上に努めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価は行っているが、結果の活用には至っていない。実習においては、中間評価により後半への課題の明確化を行い最終評価に繋げている。	学生の授業評価は実施しているが、結果の活用は十分に図れていない。実習評価は学生と担当者の双方で行い、次に繋げている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則や細則に基づき、規程の出席率を満たした者が学科試験・実習評価を受け、一定の評価以上で単位認定を行っている。実習においては、学科会議にかけ、評価の判定を行っている。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業・単位認定に係る事案については、学科会議・科長会に諮り、運営会議で報告している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次には協同学習・ボランティア発表を行い、各学年とも実習終了後の報告会では教員も参加し、学びの共有・成果の把握をしている。	課題学習発表会やボランティア活動、実習報告会、事例研究発表会など、学年で企画・実施しており、学科の教員も参加し、成果を把握している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師資格の取得が目標であることは、入学時ガイダンスから始まり各実習ガイダンスで意識づけを行っている。国家試験を最終目標とし、逆向きに段階的な目標設定を意識づけている。	看護師国家資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程が資格取得の体系的な位置づけになっている。国家試験担当教員が年間計画を立て、明確化し、支援している。また、学科内で傾向と対策を立て、学生の状況に合わせた支援を行っている。	国家試験対策委員会を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率は100%で設置主体法人への就職率は57%であった。	就職率は100%を維持している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	定期的な模擬試験や補習を行い、1年次より国家試験合格に向けて取り組んだ結果、2019年度の看護師国家試験合格率は97.2%であった。既卒生においては学習とメンタル面のサポートを行い、合格率は100%であった。	看護師国家試験合格率は今年度は97.2%であった。模擬試験や補習講義の成果を確認し、個別の学習対策やメンタルサポートを実施していた。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補習、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	クラス担任・副担任が窓口になり学科の教員で支援を行っている。メンタルサポートの必要な学生においては、必要時に法人保健師の紹介を行い、保健師のサポート及び協力を得ている。	担任を中心に個別の学生の面接や相談を行っている。学業不振や登校が常でない学生には早期に対応しており、今年度の退学者はいなかった。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人修学資金制度を積極的に周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	日本学生支援機構の他、法人の奨学金制度を案内しており、8~9割の学生が奨学金を受けている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績不振学生の保護者にも面談を行い、状況を把握した上で学生の支援に係る協力を得ている。必要時電話で状況を伝え、留年決定までに連携を図っており、保護者からの抗議や苦情はない。また、戴帽式後に保護者との交流会を実施し、保護者に教育方針や卒業までのスケジュール等を伝え、今後の学生生活に関心をもってサポートすることができる環境づくりに努力した。交流会では保護者から積極的な質問等があり、将来の不安等に対しては助言をし対応している。	成績不振者や出席が常でない学生に対し保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施し、保護者との連携体制を構築している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。課題としては、全学生及び保護者への評価した成績の公開が挙げられる。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上必要な最低限の教育用具は整備されており、随時購入している。校舎は、40年以上経過しており老朽化がみられるが、学生の学習に影響が出ないよう随時補修は行われている。	建物や教育用具の老朽化により、学習環境が十分に整備されていない。不具合が生じた場合は、直ちに補修工事や教育用具の整備を依頼し、実施している状況である。	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められているが、防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄や災害時安否確認のシステム構築ができていない。	建物の老朽化から、安全な教育環境とは言えない。防災に対する基本方針はあるが、防災訓練の実施内容・時期の見直しや災害時安否確認システムの整備などは喫緊の課題である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。が、校舎・設備等の老朽化から将来構想の策定が急務である。看護学院の今後のあり方を、法人全体で早急に検討し方向性を決定する必要がある。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校ガイダンスに積極的に参加し、また高校進路指導部対象相談会を実施し、情報提供も行っている。	5月に高校の進路指導教員対象の説明会を、当学院で実施した。また、大阪府看護協会・看護学校協議会共催の進学相談会に参加し、教育機関に対する情報提供・共有を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生の受入募集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	業者主催の進学相談会や大阪府看護協会主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会も積極的に実施している。ホームページには学生の状況など学生生活がイメージできるような内容を掲載しアクセス数も増加している。	学生募集活動は、事務職員と教員が連携し、教育活動に影響しない範囲で積極的に取り組んでいる。今後はホームページも効果的に活用し、当学院のアピール度を高めていきたい。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	今後、18歳人口の減少と養成校の乱立により受験生の確保が難しい状況になると予想される。この状況を将来どの様にしていくのか結論をだすためには、看護学院の今後のあり方を早急に検討し方向性を決定する必要がある
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。受験生は大幅な減少はなく、定員は確保できている。	入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい学生像を話し合い、選考基準を検討した。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法令等の遵守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	学生個人の情報を取り扱うときは、目的を明確にし、必要な範囲内で情報を保ち、取り扱いには細心の注意を払っている。学生が実習時に患者情報を取り扱う場合は、学生ガイドランスや実習ガイドランス等でオリエンテーションを行ない、個人情報保護対策の周知徹底を行っている。実習での個人情報の取り扱いについては、学生と誓約書を交わし、個人情報保護の徹底に努めている。	学生や教職員に対しての個人情報保護規程を定めている。入学時や実習前、実習中や学校生活で生じた諸問題は全教員で情報を共有するように努めているが、看護者の倫理綱領にも個人情報保護や守秘義務に対する文言が明示してある様に、教員は学生や教職員以外の個人情報の取り扱いについても注意を払っている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	個人情報保護規程を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育評価(授業評価・実習評価)は実施し、実習においては問題点の改善を行っている。教育活動においては、教員の意見を吸い上げ会議に諮るなど、学校経営への意識は持つようになった。	自校の教育活動その他の運営状態の自己点検・自己評価を行い、学校経営の現状の見直しが必要である。教員全員が学校経営への参加意識を持つことが必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特になし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。